

政府は戦没者の遺骨を救わなければならない 国会集会

去る3月10日、自民党沖縄県連と公明党沖縄県本部の代表が、沖縄防衛局長を訪ね、南部地区の土砂を使うことについて、県民感情に深く配慮するよう申し入れました。この遺骨土砂問題が少しずつ良い方向に動き出しております。

この間、私たちは、2月14日オール沖縄会議と共催した「南部戦跡からの土砂採取」集会に第2回「沖縄戦の慰霊と現地視察」沖縄訪問団を結成し参加いたしました。また、3月1日から6日までの具志堅隆松さんのハンスト行動にも連帯し、3月2日国会内で、3月6日渋谷ハチ公前で連帯集会を開き成功させることができました。さらに、3月20日の那覇で開催されるオール沖縄会議主催の「南部戦跡からの土砂採取」学習会に連帯する集会を開催いたします。これからも具志堅隆松さんたちと連帯し、行動を積み重ねてまいります。

下記の沖縄連帯集会へのご参加をよろしくお願いいたします。

3月25日（木）14：00～15：00

衆議院第2議員会館 第5会議室

☆第2回沖縄訪問団、ハンストの報告があります。

☆国会議員の連帯挨拶があります。

◎集会後、国会議員会館前で祈念行動

沖縄県は3月18日、熊野鉱山の開発届出を受理いたしました。熊野鉱山の開発行為を中止させる知事権限の行使の期限は4月16日までです。知事を激励し、孤立させないよう、別紙を参照して、知事にFAX送信してくださるようお願いいたします。

☆コロナ対策を万全にしてお集まりください。

共催「平和をつくり出す宗教者ネット」

「基地のない沖縄をめざす宗教者の集い」

連絡先 090-1853-1446（武田）

ファックス 03-3461-9367